

第8回シンポジウム

『未来志向の次世代食品機能性と自然免疫』

日時 平成31年3月15日(金)

13:00~17:40 (12:00受付開始)

18:00~20:00 (交流会)

会場 笹川記念館 鳳凰の間

(東京都港区三田3-12-12)

入場料 一般:1,000円 学生:500円 定員150名:申込先順

～ プ ロ グ ラ ム ～

13:00~17:40

講演 1 (各講演者30分 ※質疑応答を含む)

講演者

芦田 均 (神戸大学大学院 農学研究科 教授)

「血管機能改善効果の観点からの黒大豆ポリフェノールの機能性」

亀井 飛鳥 (神奈川県立産業技術研究所 主任研究員)

「食品の機能性評価研究事例」

岡田 晋治 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 准教授)

「身体ロコモーション改善に資する食品素材」

二川 健 (徳島大学大学院 教授)

「近未来型宇宙食糧ソリューションの提案」

田中 史子 (早稲田大学重点領域研究機構 次席研究員)

「高齢者の身体能力に及ぼす運動×機能性食品の相乗効果

～時間栄養学・運動学の観点から～」

数村 公子 (浜松ホトニクス株式会社 中央研究所 専任部員)

「光センシングによるホメオスタシス多視点評価オンサイトシステム」

講演 2 (60分 ※質疑応答を含む)

講演者 稲川 裕之(自然免疫制御技術研究組合 研究開発本部長)

「LPS経口投与によるアルツハイマー病予防・治療効果のポテンシャル」

※講演者は上記の通り(順不同)ですが、講演順は現在未定です。

18:00~20:00 交流会

◆問い合わせ先◆

自然免疫制御技術研究組合 事務局 (中本/川西)

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16 FROM香川バイオ研究室 自然免疫グループ

TEL:(087)813-9201 FAX:(087)813-9203 E-mail:ciitra@shizenmeneki.org

第8回シンポジウム『未来志向の次世代食品機能性と自然免疫』開催にあたり

「自然免疫制御技術研究組合」は、糖脂質(リポ多糖、LPS)等を用いて自然免疫を制御する有用な技術を開発する目的で、平成22年3月8日、経済産業省の認可を受け、全国で12番目、四国では初めての技術研究組合として設立されました。現在、自然免疫活性を制御するさまざまな新規な素材の研究開発に取り組むとともに、自然免疫制御による健康維持戦略の確立に向けリテラシー向上にも力を注いでおります。

加えまして平成26年度には、内閣府の主導する戦略的イノベーション創造プログラム(略称SIP)次世代農林水産業創造技術において、東京大学大学院・阿部啓子特任教授が取りまとめられる「次世代機能性農林水産物・食品の開発」に属する「ホメオスタシス多視点評価システム開発グループコンソーシアム」(代表研究機関:自然免疫制御技術研究組合)が採択され、「ホメオスタシス維持機能をもつ農林水産物・食品の機能性成分評価手法の開発と作用機序の解明」にむけて研究開発に当たっています。

当コンソーシアムが取り組むテーマでは、多成分を含む食品や運動の「ホメオスタシス維持機能」の評価には、個体の酸化ストレス抵抗性と異物排除能を高感度かつ低侵襲で総合的に評価できる、ヒト介入試験等で検証された測定システムの開発が不可欠であるとの技術課題に取り組んでおります。そしてホメオスタシス維持に自然免疫力がその一翼を担っていることは疑いのないところです。

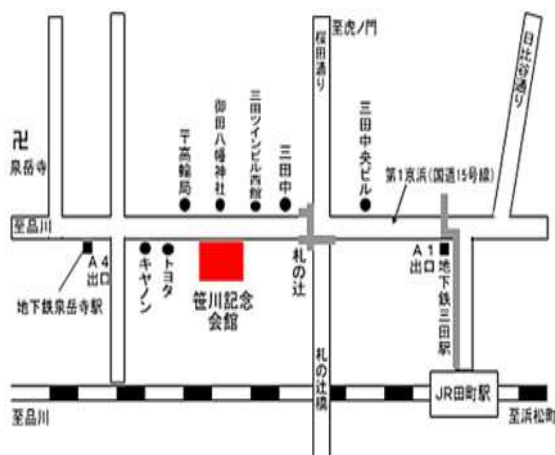
日本が長寿国家であることは誇るべきことでありますが、その一方で、高齢化に伴い医療費が増加している事実にも表れているように、必ずしも健康とは言えない状態にある高齢者も少なくありません。超高齢社会において良好なQOLを保つ対策を具体的に提供することは、今後の大きな課題の一つであることは明らかです。その具体的な取組として、食品機能には「自然免疫力」の低下を抑えることで疾患リスクの低減を図り、病気からの回復を早めることなどが期待されており、これらを背景として、食品の自然免疫に働きかける成分は、次世代食品機能性のひとつとして、これにより健康維持に資する研究は広がりを見せています。

こうした中、今回ご案内申し上げます「第8回シンポジウム『未来志向の次世代食品機能性と自然免疫』」は、研究成果を広く一般の皆様にご公開するSIP事業のアウトリーチ活動として、健康寿命の延伸と直結する食品機能に着目して昨年に引き続き開催させていただくもので、「ホメオスタシス多視点評価システム開発グループコンソーシアム」と「自然免疫制御技術研究組合」が共催するものです。ところで第I期SIPは今年度が最終年度になります。そこで今回はこれまでのシンポジウムとは形式を変えて、SIPでご活躍の若い先生方を中心に講師をお願いして、ご研究のお話を伺う機会に致したく存じます。そこで講師として、神戸大学大学院教授 芦田 均氏、神奈川県立産業技術総合研究所 主任研究員 亀井 飛鳥氏、東京大学大学院准教授 岡田 晋治氏、徳島大学大学院教授 二川 健氏、浜松ホトニクス株式会社 専任部員 数村 公子氏、早稲田大学 次席研究員 田中 史子氏をお迎えいたします。また、本組合から研究開発本部長の稲川 裕之氏よりLPS摂取の健康維持における重要性について講演いたします。

本シンポジウムが免疫関連の研究者、予防医療や健康産業に携わっておられる各界の皆様、そして免疫に興味をお持ちの皆様へ、未来志向の食品機能性と自然免疫に関する研究と開発の現状やこれからの展望を理解していただく機会になるとともに、SIP事業への普及広報につながれば幸いです。

たくさんの方々にご出席を賜りますよう、ここにご案内申し上げます。

笹川記念会館 アクセスマップ



最寄りの交通機関

- ・都営地下鉄三田線
「三田」駅下車A1出口から徒歩6分
- ・都営地下鉄浅草線
「泉岳寺」駅下車A4出口から徒歩3分
- ・JR山手線
「田町」駅下車三田口から徒歩8分

笹川記念会館

〒108-0073 東京都港区三田3-12-12

TEL 03-3454-5062 (代表)